

北大病院に「次世代遠隔医療システム開発センター」設置

～ポスト5Gに向けた新しい遠隔医療システムの研究開発を推進～

【概要】

令和3年7月29日、北海道大学病院では、視覚だけでなく触覚も含む幅広い情報を扱う次世代型医療通信システムを研究開発し、臨床応用展開に繋げるため「次世代遠隔医療システム開発センター」を設置しました（センター長：北海道大学病院 岩崎倫政 教授、副センター長：北海道大学量子集積エレクトロニクス研究センター 池辺将之 教授）。本センターは、北大病院内「医療・ヘルスサイエンス研究開発機構」の研究機能であるイノベーションユニットとして、ポスト5Gの通信技術を活かしつつ、新しい医療通信システムの構築とその臨床展開を推進していきます。

【センター設置の経緯と意義】

現状のコロナ禍において遠隔医療の重要さが認識される中、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）が推進するポスト5G情報通信システム基盤強化研究開発事業において、北海道大学と日本ユニシス株式会社、株式会社テクノフェイスが提案した先導研究テーマ「ポスト5Gに向けたマルチモーダル情報の効率的活用と触診・遠隔医療技術への応用（研究開発責任者：池辺将之）」が採択されました。本センターは、当該事業の臨床応用を見据え、北大病院（岩崎倫政 教授グループ）並びに産官学の強力な体制作りと情報共有を常時可能とする”臨床現場”に根差した研究開発の推進を目的として設置されます。

「視て触れる」新しい医療通信システムの実現のため、医学分野/保健科学分野/工学分野と企業グループの知見を融合し、医療プロトコルからセンサ・ディスプレイのデバイス開発、ネットワークの活用に至るまで、密な連携のもとシステム開発を行っていきます。実現した技術を病院間医療通信に応用、北海道内の病院群を結んだ5G接続による実証実験を経て、実質的な臨床活用への展開を積極的に実施します。

【開始時期】

令和3年7月29日より本センターの活動を開始いたします。

お問い合わせ先

北海道大学病院 教授 岩崎倫政（いわさきのりまさ）

T E L 011-706-5933 F A X 011-706-6054 メール niwasaki@med.hokudai.ac.jp

U R L https://www.hokudaiseikei.jp/pro_iwasaki.html

北海道大学量子集積エレクトロニクス研究センター 教授 池辺将之（いけべまさゆき）

T E L 011-706-7689 F A X 011-716-6004 メール ikebe@ist.hokudai.ac.jp

U R L <https://www.rciqe.hokudai.ac.jp/labo/iqs/>

配信元

北海道大学病院総務課総務係（〒060-8648 札幌市北区北 14 条西 5 丁目）

T E L 011-706-7631 F A X 011-706-7627 メール pr_office@huhp.hokudai.ac.jp